

2008 図書館展示 12月

オペラ “La Rondine” とプッチーニの名場面 ～ プッチーニの生誕 150 周年によせて～

12月12日に行われる音楽研究所
オペラ演奏研究プロジェクト公演に
あわせて、《La Rondine(つばめ)》を
中心に演奏曲の資料を展示します。



展示期間 2008年12月8日～12月24日
展示場所 図書館ブラウジングルーム、AV資料室
企画 国立音楽大学附属図書館広報委員会

《つばめ》について

1913年10月、《西部の娘》(1910年初演)上演のためにウィーンに行ったプッチーニはレハールと交流し、レハールから紹介されたカール劇場の支配人たちから、オペレッタの作曲を依頼された。レハールの(ルクセンブルク公爵)の台本作家であるヴィルナーからの台本の草案を気に入らなかったプッチーニは、オペレッタを作曲する気は失い、「喜劇的で、軽やかな感傷的オペラ」として《つばめ》を作曲した。台本は結局イタリア語版を委嘱されたジュゼッペ・アダーミの手によっている。

第一次世界大戦が勃発したため、プッチーニに仕事を依頼したオーストリアは敵国になってしまった。ウィーン側はなお《つばめ》の初演の権利は確保していたが、プッチーニはイタリアにおける楽譜出版元を探した。それまでプッチーニの作品を独占的に出版していたリコルディ社が、先代のジュリオ・リコルディが亡くなり、息子のティートは《つばめ》に関心を示さなかったため、ライバルのソントオーニョ社が楽譜の出版を行い、また初演の興業権もウィーンから買い取り、《つばめ》は1917年3月、モンテカルロで初演されることになった。

初演：1917年3月27日、カジノ劇場(モンテ・カルロ)
マグダ・ド・シヴリイ：シルダ・ダッラ・リッツィ
ルッジェーロ・ラストウーク：ティート・スキーバ
指揮：ジーノ・マリヌッツィ

イタリア国内初演後の評論家からの批判により、翌年、第1幕にルッジェーロのロマンツァを追加したり、プルニエをバリトンに変えたりといった改訂作業を行い、改訂版の初演が1920年4月20日パレルモのテアトロ・マッシモで、ヴィットリオ・グーイの指揮で行われた。《つばめ》の海外の評判は悪く、作曲者は再度、改訂作業を行った。しかし、この第3版は上演されることなく、手稿原譜と管弦楽資料は会社の倉庫に放置され、第二次世界大戦中の爆撃で焼失した。わずかに、新しい曲の6ページを含む声楽スコアだけが残存している。作曲者も、《つばめ》への関心を失い、後に、「この豚のようなオペラ」と表現するようになった。プッチーニ作品の中では上演回数が少ないが、近年やっと増加傾向にある。そして長らく“失敗作”と言われてきたが、近年ようやく再評価されようとしている。

展示資料

パネル

プッチーニ Puccini, Giacomo, 1858-1924

出典: Wikimedia Commons <<http://commons.wikimedia.org/wiki/Image:GiacomoPuccini.jpg>>

《妖精ヴィッリ》初演（1884年）の頃のプッチーニ

出典: Southwell-Sander, Peter. Puccini. The illustrated lives of the great composers. London, England: Omnibus Press, 1996.(p. 25)

《妖精ヴィッリ》第1幕のスケッチ

ドイツ人画家・ホーエンシュタイン (1854-1928)画

出典: Marchesi, Gustavo, and Marisa Di Gregorio Casati. Puccini: vissi d'arte, vissi d'amore : vita, immagini, ritratti. Parma: STEP, 2003.(p. 57)

《ラ・ボエーム》初版のタイトルページ

ドイツ人画家・ホーエンシュタイン (1854-1928)画

出典: Strzysch-Siebeck, Marianne, and Jan Brachmann. Der Brockhaus Oper: Werke, Personen, Sachbegriffe. Mannheim: F.A. Brockhaus, 2003.(p. 44)

《蝶々夫人》原作のイラスト

ジョン・ルーサー・ロングの小説のためのイラスト

出典: Southwell-Sander, Peter. Puccini. The illustrated lives of the great composers. London, England: Omnibus Press, 1996.(p. 100)

《外套》

1918年12月14日、ニューヨーク、メトロポリタン歌劇場で初演の最終場面

出典: Sadie, Stanley. The New Grove Book of Operas. London: Macmillan, 1996. (p. 606)

《ジャンニ・スキッキ》

1918年12月14日、ニューヨーク、メトロポリタン歌劇場で初演

出典: Sadie, Stanley. The New Grove Book of Operas. London: Macmillan, 1996. (p. 254)

《トゥーランドット》ミラノ初演の際のポスター（1926年）

出典: Strzysch-Siebeck, Marianne, and Jan Brachmann. Der Brockhaus Oper: Werke, Personen, Sachbegriffe. Mannheim: F.A. Brockhaus, 2003.(p. 350)

《つばめ》ローマ初演の際のポスター

出典: Puccini, Giacomo. La rondine. RCA Red Seal, p1980. (解説 p. 6)

《つばめ》初代マグダのリッツァ

出典: Puccini, Giacomo. La rondine. RCA Red Seal, p1980. (解説 p. 6)

プッチーニの書き込みの見られる《つばめ》のスコア

出典: Puccini, Giacomo. La rondine. RCA Red Seal, p1980. (解説 p. 6)

《つばめ》第3幕の舞台

出典: Puccini, Giacomo. La rondine. RCA Red Seal, p1980. (解説 p. 9)

《つばめ》ポスター

ポーランド人のデザイナー・画家であるオルピンスキがニューヨーク・シティ・オペラのために描いたポスター（1993年）

出典: Passent, Agata, Rafal Olbinski, and Christopher Mount. Rafal Olbinski and the Opera. New York: Nahan, 2003. (p. 39)

楽譜

"Le villi : opera-ballo in due atti"

Milano : Ricordi, 1962, c1905 請求記号 X0-300

「妖精ヴィッリ」より アリア「アンナ、そんなに悲しまないでくれ」

"La Boheme : in quattro quadri"

Milano : Ricordi, 19201986 printing 請求記号 H29-963

「ラ・ボエーム」より アリア「さらば、古外套よ」

"Madama Butterfly : tragedia giapponese in due atti"

Milano : Ricordi, c1907, 1988 printing 請求記号 H29-966, 他

「蝶々夫人」より

アリア「或る日(ある晴れた日に)」 [展示箇所]

デュエット「あの桜を揺すって」

三重唱「慰めようのないことは分かっている」

アリア「さようなら、喜びと愛の花咲く家よ」

"Il Tabarro : opera in un atto"

Milano : Ricordi ; [Milwaukee, Wis.] : Distributed by H. Leonard, c2006 請求記号 H44-277

「外套」より アリア「何も無い! 静かだ!」

"Gianni Schicchi : opera in un atto"

San Giuliano Milanese (Milano) : Ricordi, c2006 請求記号 H44-276

「ジャンニ・スキッキ」より アリア「ねえ! 私の優しいお父さま」

"Turandot : dramma lirico in tre atti e cinque quadri"

Milano : Ricordi, c2000 請求記号 請求記号 H40-681

「トゥランドット」より

アリア「この宮廷で、幾千年もの昔のこと」 [展示箇所]

アリア「氷につつまれたあなたでも」

"La rondine : commedia lirica in three acts"

Boca Raton, Fla. : E.F. Kalmus, [199-?] [v. 1] Acts I-II -- [v. 2] Act III 請求記号 H41-570/(1), H41-571/(2)

「つばめ」より第3幕

図書

edited by Stanley Sadie "The New grove book of operas"

London : Macmillan, 1996 請求記号 J84-172

日本語版は『新グローヴオペラ事典』(請求記号 J114-154)

texts, Agata Passent, Christopher Mount "Rafal Olbinski and the opera"

New York : Nahan : Distributed by Hills Press, c2003 請求記号 J100-109

Peter Southwell-Sander "Puccini"

London, England : Omnibus Press ; New York, NY, USA : Exclusive distributors, Music Sales Corp, 1996. (The illustrated lives of the great composers) 請求記号 J84-703

testi di Gustavo Marchesi ; introduzione di Julian Budden ; iconografia a cura di Marisa Di Gregorio Casati "Puccini : vissi d'arte, vissi d'amore : vita, immagini, ritratti"

Parma : STEP, 2003 請求記号 J109-939

星出豊著『ジャコモ・プッチーニ』
知玄舎, 2003 請求記号 J99-945

ジュリアン・バッデン著 ; 大平光雄訳『ジャコモ・プッチーニ : 生涯と作品』
春秋社, 2007 請求記号 J110-733

ウィリアム・ウィーヴァー, シモネッタ・プッチーニ編著 ; 大平光雄訳
『評伝プッチーニ : その作品・人・時代』
音楽之友社, 2004 請求記号 J103-865

南條年章著『プッチーニ』
音楽之友社, 2004. (作曲家・人と作品シリーズ) 請求記号 J102-729, 他

ルイジ・リッチ著 ; 三池三郎訳・巻末資料『プッチーニが語る自作オペラの解釈と演奏法』
音楽之友社, 2007 請求記号 J111-992

映像資料

- 「プッチーニ」作曲家の生涯と作品を紹介するドキュメンタリー 請求記号 VE1511
- 「ラ・ボエーム」ヘスス・ロベス＝コボス指揮マドリッド交響楽団、合唱団、他 請求記号 VE1476-1477
- 「蝶々夫人」ダニエル・オーレン指揮アレナ・ディ・ヴェローナ管弦楽団、合唱団、他 請求記号 VE1710
- 「外套」ジェームズ・レヴァイン指揮メトロポリタン歌劇場管弦楽団、合唱団、他 請求記号 VD3713-3714
- 「トゥーランドット」ズーピン・メータ指揮フィレンツェ五月音楽祭管弦楽団、他 請求記号 VE116

録音資料

- 「妖精ヴァルリ」ロリン・マゼール指揮ナショナル・フィルハーモニック管弦楽団、他 請求記号 XD9222
- 「ラ・ボエーム」ヘルベルト・フォン・カラヤン指揮ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、他 請求記号 XD13281-13282
- 「蝶々夫人」ヘルベルト・フォン・カラヤン指揮ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、他 請求記号 XD19040-19042, 他
- 「外套」アントニオ・パッパーノ指揮ロンドン交響楽団、他 請求記号 XD41489-41491
- 「ジャンニ・スキッキ」ガブリエーレ・サンティエーニ指揮ローマ国立歌劇場管弦楽団、他 請求記号 XD41197
- 「トゥーランドット」ヘルベルト・フォン・カラヤン指揮ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、他 請求記号 XD21974-21975
- 「つばめ」ロリン・マゼール指揮ロンドン交響楽団、他 請求記号 XD9334-9335

展示パンフレットは図書館ホームページからも入手できます。(バックナンバーも公開しています。)

<http://www.lib.kunitachi.ac.jp/tenji/tenji.htm>

2008/12/8 編集 国立音楽大学附属図書館広報委員会 : 三宅巖・二塚恵里